

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		鈴鹿市第2療育センター		公表日 令和 8 年 2 月 25 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不要なものは置かないようにしている。</li> <li>・利用者様の人数に応じて、グループ分けを行っている。</li> <li>・活動やその日の利用児の人数により、狭すぎないように、遊具の置き方、配置など配慮している。</li> </ul>		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切だとは言いがたいが、訓練士も入り、いろいろな目線からお子さまの発達に関われるようにしている。</li> <li>・危険にならない刺激になりすぎない職員数の配置をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様の人数に対し、職員数が多いことや、少ないと感じるときがあるため、調整が必要である。</li> </ul>	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段があるところはテープで気づきやすくしたり、何を入れるスペースが絵カードなどで示している。</li> </ul>		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃に入ってもらってる場所以外にも、職員で利用者様がいらっしゃる前に清掃している。</li> <li>・清潔を保つために毎日掃除を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テラスや手洗い場は夏には暑さ対策、冬には寒さ対策の必要。</li> <li>・マットの衛生面に配慮する必要がある。</li> </ul>	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静養室等があり個別に対応できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別対応できる場所が十分に確保できていない。</li> </ul>	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画と振り返り以外に、毎週利用者様の様子を共有する会議を行なっている。</li> </ul>		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いただいた意見はみんなで話し合っている。</li> <li>・職員が保護者様からの意見を基に話し合いを重ね改善に取り組んでいる。</li> <li>・アンケートの締め切り後、出していたアンケートは毎年、回覧している。</li> </ul>		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が顔を合わせて意見する会議以外にも無記名で意見が言える機会がある。</li> <li>・職員会議、週案会議、療育会議などで、その都度、共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士だけでなく、訓練士、心理士などが集まり事例検討などできる環境があるので良いと思う。</li> </ul>	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	5			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な研修以外にも、外部で研修を受けた職員は、会議等の時に伝達講習を行っています。</li> <li>・多くの研修に参加させていただける機会があり、勉強させていただいています。</li> </ul>		
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	1			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・複数人で振り返り（モニタリング）を行い、利用者様の得意、不得意なこと、原因や方向性を考え、計画を作成している。 ・共有理解、支援の見直しなど職員間で行われている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・支援に入る職員は支援計画を確認してからクラスに入らせていただいている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2	・療育や個別の活動の様子を踏まえ、日頃の様子を確認、今後予測されることなどお話しさせていただいている。 ・モニタリングや療育中、療育後など、アセスメントをしている。	・標準化されたツールが発達検査や訓練士の評価になるとすれば、未実施の利用児のフォローが必要だと感じる。 ・アセスメントの取り方に標準的なものは何が合っているのかは今後検討していく必要がある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		・毎週会議を行っている。また、実際に提供内容を職員が試して提示の仕方、難度の調整等を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	2	・大きな活動は変化させていないが、子どもに合わせてものを提供している。 ・固定化はさせないが、繰り返し積み重ねが必要なときはあえ同じ活動をするなど、工夫している。 ・道具は限られているので、全く違うわけではないが、同じ道具、遊具を使っても狙いや関わり方を変えている。	・活動の順が決まっているため、柔軟にしていけるよう検討するのも良いのではないかと 思う。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		・お子さまの様子や保護者様のニーズを伺い、適宜組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		・事前に検討したプログラムを、その日の利用者様に合わせて、提供している。 ・内容で工夫する点などを打ち合わせで確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10			・思いが強すぎて振り返りが長くなることもあるので気をつけたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		・丁寧に記録するよう心がけてはいるが、うまく書けないこともある。支援の検証は活動後のミーティングで行っている。	・文字や言葉にする中で課題を具体的にした り、検証につなげていく必要があると感じて いる。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		・現状を話し合い、見直しに努めている。		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1	・普段から電話等で連携取らせていただいている。	・モニタリング時期を中心に必要に応じて、 連絡、連携を取らせていただいているが、医 療機関なども連携が取れるようにしていく必 要があると思う。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	・園の様子を聞くため、定期的に電話をして いる。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引継会を希望されない場合でも、後から必要だと感じられることがあるので、終了されるときには、療育センターでの様子をお渡ししている。</li> <li>・引き継ぎ会に参加し、お子さまの現状や支援方法の情報提供を行い、学校の先生にお子さまのことを知ってもらえるように話をしている。</li> </ul>	
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡会を実施し、情報共有等を行っている。</li> <li>・地域の事業所等に対しては、アンケート調査を行い、研修会を実施している。</li> </ul>	
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修を受け、受けたら伝達講習をしている。</li> <li>・専門家からの指導は年に数回受けている。</li> <li>・自発的に各自が申し込んでいる。</li> </ul>	
	30 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当を決め、参加している。</li> </ul>	
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども同士の交流はないが、牧田小学校さんから春先に素敵なお花の寄せ植えをいただき、その花を見て、季節の話やお兄さん、お姉さんになる話などを行っている。</li> </ul>	
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さまの様子や活動状況を伝える中で、今後の課題などお話しさせていただいてる。</li> </ul>	
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は第1療育センターでペアレントトレーニングを行っている。</li> <li>・今年度は第1療育センターで行っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1療育センターのみペアレントトレーニングの実施になっているので、第2も参加できる機会があると良いかなと思う。</li> </ul>	
35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1			
36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	1			
37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・必要に応じて、お子さまがいらっしやらない時間等にも行っている。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	8	・会の配布物等を設置している。	・保護者同士で交流する機会は少ないため、そのような場を提供できるように検討していくことが今後の課題と感じている。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		・ポスターやきずなネットでも配信してお知らせしている。	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10			
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		・記録等をPCで確認できるようにしており、個人ファイルや情報が外から見えにくいようにしている。	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		・一緒に少しずつ整理している。 ・必要であればまだ確認できるように提案している。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	7	・広報誌やSNSで発信している。	・行事ごとは少ないため地域の方を招待することもない。行事の数も含めて検討していく。
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2		・マニュアルの確認だけでなく実際に実施していく必要があると思う。
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	3	・毎年変更がないか確認している。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	・安全計画に基づいて事前の下見やAEDの作動確認等行っている。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1	・年長児の方は保護者様と離れて活動するため、引き渡し訓練を実施している。	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1		
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		・虐待防止研修を実施しており、参加できない職員は録画したのを見れるようになっていく。	
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	4	・身体拘束を行っていない。 ・現在、対象者はいないが、必要であれば保護者様と相談し、個別支援計画にも記載することになっている。		